

## 仙台医療圏における救急医療関係機関の意見交換会の開催

### 1 概要

昨年度実施した救急搬送実態調査結果において、仙台圏域における平均現場活動時間や平均照会回数が多い傾向にあることが明らかとなったため、今年度実施した消防機関に対するヒアリングや二次救急医療機関に対するアンケート調査を踏まえ、課題や問題点を共有し、施策の方向性や体制整備を検討することを目的として、仙台医療圏の二次救急医療機関及び消防本部（局）の実務担当者等を対象とした意見交換会を開催する。

### 2 検討内容（案）

消防機関に対するヒアリングや二次救急医療機関に対するアンケート結果から考えられる課題から、特に以下の項目を検討することとする。

#### ○軽症患者の増加に対応する一次救急医療機関の受入体制の充実

→ 軽症患者の増加等により、二次及び三次救急医療機関の負担が増加しているため、救急搬送実施基準の見直しや、休日・夜間急患センターとの連携も踏まえ、一次救急医療機関受入体制の充実を検討する。

#### ○救急搬送のピークである準夜帯における救急搬送受入体制の充実

→ 特に午後5時から午後10時までの受入充実が求められているため、救急告示病院の受入促進や、準夜帯における休日・夜間急患センター及び輪番制の拡充を検討する。

#### ○一時的に救急搬送を受け入れる医療機関と転院先の確保や、一定の照会回数に達したら救急搬送を受け入れる等のルールづくりの検討

→ 日中帯、夜間・休日ともに「転院先が確保されていれば、一時的に受け入れることができる」という医療機関からの意見も多かったことから、バックアップとしての医療機関を転院先として確保した上で、専門に関わらず応急処置をするために、一時的に救急搬送を受け入れる医療機関の地域ごとへの配置等を検討する。

→ 県内の他の地域では、医療機関独自の取組みとしてルール化しているため、仙台医療圏においても、同様のルール化ができないか検討する。

### 3 参集範囲

- 二次救急医療機関（三次救急医療機関、仙台市病院群当番制事業協力病院を含む）関係者（医師、事務職）
- 消防本部（局）関係者
- 市町村関係者

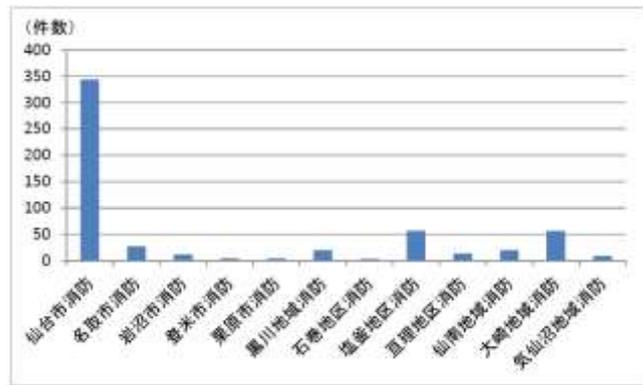
### 4 開催時期

- 平成27年度～  
(平成28年度以降も継続実施し、平成29年度を目途に体制整備を目指す。)

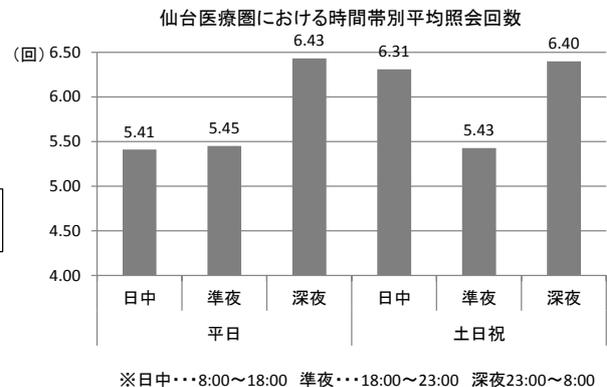
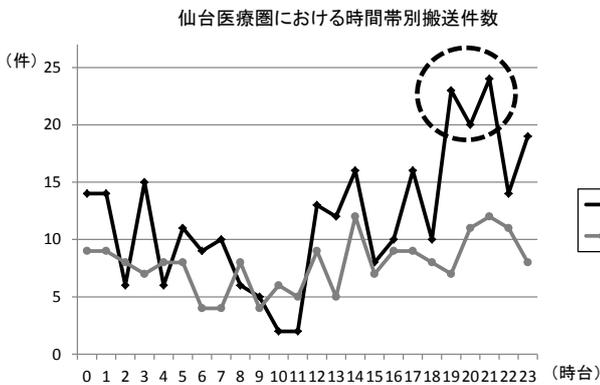
## 1 仙台医療圏における意見交換会開催の背景

昨年度実施した救急搬送実態調査（照会回数4回以上の事案が対象）において、仙台圏域の平均現場活動時間や平均照会回数が多い傾向にあることが明らかとなったため、とりわけ仙台圏域について改善に向けた施策が必要となっている。

消防本部名	件数	構成比	平均現場活動時間	平均照会回数
名取市消防	27	4.7%	0:43	6.5
岩沼市消防	12	2.1%	0:33	5.9
登米市消防	4	0.7%	0:34	4.5
栗原市消防	4	0.7%	0:47	5.0
黒川地域消防	20	3.5%	0:42	6.0
石巻地区消防	3	0.5%	0:27	4.3
塩釜地区消防	57	10.0%	0:40	5.9
亶理地区消防	13	2.3%	0:48	6.1
仙南地域消防	20	3.5%	0:34	5.5
大崎地域消防	56	9.8%	0:33	5.3
気仙沼地域消防	9	1.6%	0:33	4.1
計	569	100.0%	0:41	5.8



上記救急搬送実態調査において、仙台医療圏内を所管する消防本部（局）の搬送事案を曜日別・時間帯別に集計すると、下記の図表のとおり、平日夜間の搬送件数が多いのが顕著であり、平均照会回数もそれに伴い他の時間帯に比べ多くなっていることから、とりわけ平日夜間帯の救急医療体制の整備が課題となっていることが考えられる。



## 2 課題の整理

上記救急搬送実態調査から考察される課題の背景を確認し、整理するため、さらに仙台医療圏の消防機関及び県内の二次救急医療機関に対してヒアリングやアンケートを実施した（詳細は資料 1-3 及び 1-4 参照）。